

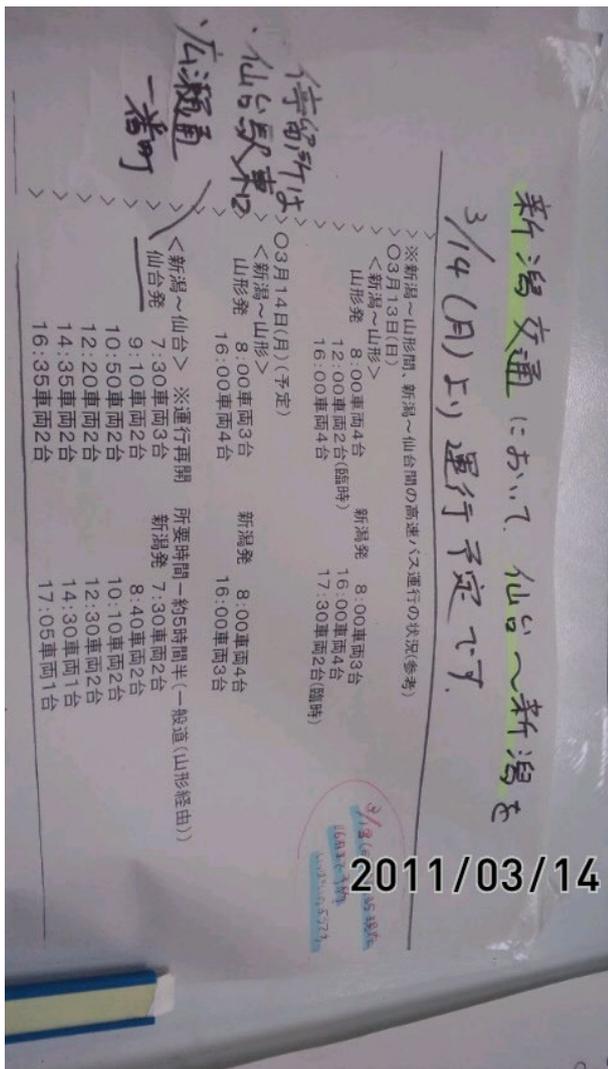
情報を早く得た人は、すぐに移動をすることが可能。

しかし、予約が殺到するため、すぐに満席になる。

この状態が続くことで、1日のうちにどこまで移動できるかはわからない。

移動を開始すると、自分の寝床や食事はすべて自分で確保しなくてはならない。

宮城県から脱出できても、次に待っている現実、寝床が確保できるかどうかであった。 2



路線高速バスの運行は、震災後は、臨時便が増便された。

この写真の情報は、新潟のバス会社の支援で運行されるものであった。

記録した写真のどの情報を見ても、

宮城県近隣の自治体や企業の支援があってこそのものである。

普段便利に利用しているものが、すべて機能していない感じが感じ取れるだろう。